

Ⅲ. 専 門 分 野

[看護の統合と実践]

必修科目(40)

科目	看護マネジメント	単位	1	時間数	15	開講期	3年後期	担当者	看護師:瀧 泉 静岡病院看護部長
----	----------	----	---	-----	----	-----	------	-----	---------------------

講義の概要および学習目標	<p>私たちは、看護職を取り巻く社会に関心を向け、社会の変化をとらえたうえで、より良い看護を提供する必要がある。そのために、組織を構造的に理解し、問題を抽出する。どのような改善策があるのか、どのようにすれば、組織としてより良い看護が提供できるのかを追求する。このプロセスは、看護過程を展開する思考に似ている。看護マネジメントは、職位の有無にかかわらず、組織の中でどのような立場であっても、それぞれの立場で行う仕事の中に、組み込まれている。組織の中の自分をイメージしながら学んでいく。</p> <p>この科目では、看護マネジメントに必要な基礎的知識について学ぶ。</p> <p>また、チーム医療を担う一人の看護師として、看護倫理について考え、倫理的葛藤とどのように向き合うか学んでいく。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護マネジメントに必要な基礎的知識を理解する 2 より良い看護を提供するための組織やチームを、看護の仕組みとしてとらえ理解する
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 看護マネジメントの中心的概念「看護ケアのマネジメント・看護サービスのマネジメント」 2 看護マネジメントのプロセス 3 組織としての看護サービスのマネジメント 組織構造と看護ケア提供システム 4 看護職としてのセルフマネジメント 5 看護活動を取り巻く法律と制度 6 看護マネジメントの実際 7 看護実践と職業倫理 倫理的ジレンマ
評価法	<p>課題レポート 筆記試験 出席状況</p>
受講生への要望	<p>数か月後には看護専門職になる皆さんです。看護師として医療の現場で働く自分の姿を描きながら、受講してほしいと思います。課題学習やグループワークも、実践家になる意識を強く持って取り組んでください。</p>
テキスト	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 系統看護学講座 専門分野「看護管理」／上泉 和子 他／医学書院 2) 系統看護学講座 別巻「看護倫理」／宮坂 道夫 他／医学書院
参考文献	<p>書名／著者名／発行所</p> <p>授業の中で紹介していきます。</p>

必修科目(41)

科目	医療安全	単位	1	時間数	15	開講期	3年後期	担当者	看護師:矢野 玲枝 病院医療安全室看護師 感染管理認定看護師
講義の概要および学習目標	<p>医療において、対象の生命とQOLを守ることは極めて重要な責務である。この科目では「人は誰でも間違える存在」であることを認識したうえで、対象が安心して医療が受けられるように、事故を未然に防ぐ仕組みづくりと安全文化の重要性を学ぶ。そして、看護職の倫理綱領に示される安全の確保と専門職として自己の行為に責任をもつ必要性を理解し、主体的に安全な看護実践をおこなう姿勢・態度を養う。</p> <p>安全な看護実践の継続は、対象の生命と尊厳を守るとともに、看護職としての社会的信頼および自らのキャリアを守ることにもつなげることを理解する。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全に必要な基礎的知識を理解する 2 組織における医療安全対策の実際を知り、組織の一員としてルールを厳守する必要性を理解する 3 看護業務にかかわる事故とその背景や要因を知り、対策がわかる 								
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療安全とは 医療安全に関する基礎知識 2 医療事故発生メカニズム 3 演習:根本原因分析(RCA) 4 組織における感染対策の実際 5 組織における医療安全対策の実際 								
評価法	課題への取り組み、筆記試験、授業参加態度								
受講生への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業は進度に応じて個人課題・グループワークがあるため欠席しないよう体調管理に努めてほしい ・ 新聞やニュースを見る等、社会情勢にも目を向けてほしい ・ 臨床で看護師として働く自己の姿をイメージしながら主体的に参加してほしい 								
テキスト	<p>書名／著者名／発行所</p> <p>1)系統看護学講座 専門分野「医療安全」／川村 治子／医学書院</p>								
参考文献	<p>書名／著者名／発行所</p> <p>1)ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践②医療安全／松下由美子他／メディカ出版</p> <p>2)よくわかる看護職の倫理綱領／峰村 淳子、石塚 睦子／照林社</p> <p>3)看護学テキストNiCE医療安全(改訂第2版)多職種でつくる患者安全をめざして／山内豊明、荒井有美／南江堂</p>								

必修科目(42)

科目	災害看護・国際看護	単位	2	時間数	40	開講期	3年前期	担当者	看護師：矢野 玲枝 瀧 泉 杉山 加苗 医師 臨床工学技士 臨床看護師 救命救急認定看護師
----	-----------	----	---	-----	----	-----	------	-----	---

講義の概要及び学習目標	<p>本科目では、災害や社会情勢、国際関係の中で起こる健康問題に目を向け、グローバル化の中に生きる現在の看護職者として様々な状況にある対象の看護を行えるよう、災害看護と国際看護の基礎的知識を学ぶ。</p> <p>災害看護では、人間・地域・くらしの視点で、被災者支援、防災対策、地域全体への介入など、生活者を守る災害看護が果たす役割が重要となる。発災からの時間経過に伴い変化する対象者への医療ケア、生活にかかわるニーズを判断し、災害サイクルに合わせた看護師の役割と看護活動を提供するための知識・技術を学ぶ。</p> <p>国際看護では、国境を越えて広がる感染症や環境汚染などによる健康被害に目を向けていく。それらの問題に対し、看護職者は、個々を取りまくグローバルな環境とその影響について理解し、個人をアセスメントしていくことが求められる。そのため、どのような問題が国際社会で起きており、その問題に対しどのように動いているかを知り、様々な状況にある対象の理解を深められるよう、国際看護の基礎的な知識を学んでいく。</p> <p>《学習目標》</p> <p>災害看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 災害看護の基礎となる災害の歴史・災害の特徴・法律や制度について理解する 2 災害サイクル各期の特徴、対象の健康障害の特徴をふまえた災害看護の役割と活動について理解する 3 災害時の救護活動に必要な技術について、基本的知識と技術を身につける <p>国際看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 文化的存在としての人間を理解し、自己理解を深める 2 国際看護活動の対象及び実際を知り、世界の健康問題について理解を深める 3 国際看護における自己の役割を明らかにする
講義内容	<p>災害看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 災害看護の意義と災害サイクルに沿った看護活動 2 災害の種類と健康障害 災害医療の実際 3 災害医療における連携支援システム 4 災害サイクル別の看護 5 災害看護の実際 トリアージ 傷病者の応急手当(一次二次救命処置・包帯法・搬送技術) 配慮を必要とする人への支援と看護 避難所運営ゲーム 6 災害を受けた人へのこころのケア <p>国際看護</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国際看護学とは 2 自己理解・他者理解 3 世界の健康問題と国際機関
評価法	終了試験・授業態度・演習への参加度
受講生への要望	日ごろから、社会の状況について興味をもって情報収集してください。また、この科目では多くの演習を行います。積極的に取り組み、たくさんのことを考え、学ぶ機会にしましょう。
テキスト	書名／著者名／発行所 1) 系統看護学講座 専門分野「災害看護学・国際看護学」／庄野泰乃 他／医学書院
参考文献	書名／著者名／発行所 1) ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践③災害看護／酒井明子他／メディカ出版 2) 看護テキストNiCE 災害看護(改訂第4版) 看護の専門知識を統合して実践につなげる／酒井明子・増野園恵 / 南江堂

必修科目(43)

科目	看護研究	単位	2	時間数	40	開講期	3年前期	担当者	看護師:松永 貴子
----	------	----	---	-----	----	-----	------	-----	-----------

講義の概要および学習目標	<p>看護研究はよりよい看護を実践するための知見を手に入れるために行うものである。つまり、研究を積み重ねていくことは看護実践の改善に欠かせないことであり、看護研究は理論と実践を結びついていくプロセスともいえる。また、研究は一部の研究者だけが行うものではなく、現場で働く看護師にこそできることであり、改善のために重要な職務のひとつとなっている。この科目では、ケースレポートとして、自らの実習での看護実践を振り返り、文献等を活用して看護としての意味や課題を明確にしていく。また、自らの看護実践の意味を明らかにするための根拠となる文献について、批判的思考を使って読み深めることも体験する。看護を研究する目的や方法を、実際にケースレポートをまとめるプロセスを体験しながら学んでいく。さらに、ケースレポートを発表する機会をもつことで新たな気づきを得て、自己の看護観を深め、この先の看護実践への手がかりとする。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 看護研究の意義・方法を学ぶ 2 実践した看護をケースレポートとしてまとめることで看護について考え、自らの看護観を深める
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 看護における研究の意義 <ul style="list-style-type: none"> － 研究とは何か、看護を研究する目的 － 看護研究における倫理的配慮 2 看護実践と看護研究 <ul style="list-style-type: none"> － 看護専門職への学習課題、看護を研究するための方法 ケースレポート 3 ケースレポート <ul style="list-style-type: none"> － 研究素材の構造分析・看護上の仮説とは － 文献学習、文献検討(クリティーク) 4 ケースレポートの発表と検討 5 グループワークによるケースレポートについての検討 6 看護についての考えをまとめる(次の実習への課題の明確化)
評価法	<p>課題への取り組み、グループワークへの取り組み、課題レポート(ケースレポート)、ケースレポートの発表と検討会での取り組みをルーブリックで評価する</p>
受講生への要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次「看護理論」で作成した「文献研究資料(8人の理論家に近づこう)」を参考にするので持参してください。 ・ 2年次「看護理論」終了試験の答案用紙に書かれた看護場面の記述を教材にして学習するので持参してください。 ・ 2年次の実習体験を教材として、ケースレポートをまとめる過程を体験的に学習するため、実習ファイルやノートも活用します。準備しておきましょう。 ・ 研究への取り組みをより効果的にするために、グループワークを活用します。
テキスト	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 系統看護学講座 別巻「看護研究」／坂下玲子 他／医学書院 2) Nice「看護理論」-看護理論20の理解と実践への応用-／筒井 真優美／南江堂 3) 科学的看護論 第3版／薄井 坦子／日本看護協会出版会
参考文献	<p>書名／著者名／発行所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 系統的看護学講座 専門分野「基礎看護技術Ⅰ」／茂野 香おる／医学書院

必修科目(44)

科目	看護実践力アップ演習	単位	1	時間数	20	開講期	3年後期	担当者	看護師：宮田 芳衣 看護師：山口 一世 看護師：松永 しのぶ 看護師：松本 理恵
----	------------	----	---	-----	----	-----	------	-----	---

講義の概要および学習目標	<p>この科目では、これまでの講義、演習、臨地実習での学びを統合し、臨床に即した状況下で対象に必要な看護を工夫しながら実践するための能力を高めることをねらいとしている。さらに、臨床での看護実践に必要な看護技術の上達を目指す。これからも成長し続けていく力を高めていくために、この演習を通して改めて自分の傾向や課題をみつめる。</p> <p>《学習目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 臨床に近い状況下において、既習の知識と技術を統合し、対象の状態・状況を解釈・判断しながら、倫理観に基づいた看護援助を実践する 2 卒業時の看護技術到達度を踏まえて、自己の課題を把握し、技術力を向上させる 3 自己の看護実践力を省察し、卒業後の成長につながる課題を見出す
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護実践力アップ演習とは 2. 緊急・想定外な事態や状況が起きた時に、どう行動していいかわかるようになるろう！ ～事態や状況を把握し、初期対応・報告を行えるようになるためのトレーニング 3. 今ある情報からアセスメントを行い、限られた時間、物品の中で必要な看護を提供しよう！ ～模擬患者さんの回復がすすみ、安楽な生活が送れるためのケアを実践する 4. 臨床で使える看護技術力を目指して、向上させよう！ ～卒業時の看護技術到達度を踏まえて、自分に不足している技術を練習する
評価法	事前学習 振り返りシート 出欠席
受講生への要望	<p>基本的に学習や振り返りはグループで、実施はペアナーシングの形式で行っていきます。同僚や先輩と共に看護をしている自分をイメージし、取り組んでほしいです。この演習では初めて経験することが多く、うまくいかないことがたくさんあると思います。学生時代に失敗したことは成長のための大事な経験となります。うまくいかない時こそ、改めて知識を確認し、仲間との意見交換や指導者からの助言を活かしてレベルアップしていきましょう。皆さんが練習したい看護技術を可能な範囲で、できるようにしたいと考えています。要望を発信してください。</p>
テキスト	書名／著者名／発行所 1)「写真でわかる臨床看護技術①」／本庄 恵子 他／インターメディカ 2)「写真でわかる臨床看護技術②」／本庄 恵子 他／インターメディカ 3)フィジカルアセスメントガイドブック／山内 豊明／医学書院 他 知識の確認、対象理解に必要な教科書
参考文献	書名／著者名／発行所

Ⅲ. 專 門 分 野

[臨地実習]

* 実習要項参照

VI. その他

学校カウンセリング

カウンセリング	希望者	担当者	杉浦 真澄
---------	-----	-----	-------

臨床心理士の方に来ていただいています。
予約制で行っています。開室日程は、時間割で確認してください。

【場所】 本校2階 学生相談室

【開室時間】 15:00 ~ 16:30

(予約は、①15:00 ~ 15:40 ・ ②15:50 ~ 16:30の2枠です。
予約があった場合には、急を要するような特別なことがない限り予約された方のための時間となります。
予約がない場合には、飛び込みの学生さんもOKです。)

【予約方法】

* 相談室のドアの予約用紙にイニシャルやマーク等、予約がわかる印を記入し、予約日時に直接相談室にいらしてください。)

【学生へのメッセージ】

カウンセリングとは、悩みや困りごとなどがある人の相談に乗り、対話を通じて本人の成長や問題解決のお手伝いをすることです。

悩みや困りごとと言っても、「最近モヤモヤしているんだけど…」「やる気が出ないな…」「忘れっぽい(ミスが多い)」「コミュニケーションが上手になりたい」など、なんでもOKです。「先生や友達には話しにくいけど、誰かに話したい」「何か良い解決方法はないかな？」など、そんな時には相談室があることを思い出してください。一緒に考えて、少しでも成長のお手伝いができたら嬉しいです。

学生へのメッセージ